

令和八年 春彼岸法要の御案内

拝 啓

春寒の砌、いかがお過ごしてしようか。

早速ですが、来たる三月二十日（金・祝）
春彼岸法要を厳修いたします。

此岸から彼岸へ。入りから明けまでの一週間、煩惱に満ちた現世（此岸）に居ながらにして、迷いや悩みを滅し悟りの境地（彼岸）を目指し、心身共に行をさせていただきましょう。

身と口と心で造る諸々の行いを自戒し、思いやりの心、言葉そして佛の智慧、理で人や事に向き合うよう心がけたいものです。

その姿をご先祖様方は観ていてくださる。

いざれ逝く道。

春彼岸をご縁に善行に励み、自らが積んだその功德をご先祖様方へと手向けさせていただたく御回向でございます。

特に春彼岸のお中日は「自然を讃え、生物を慈しむ日」春分の日として国民の休日に制定されています。

自然の一部の我々。すべてに感謝、慈しみ、少欲知足を心がけ、室内円満にてお過ごしください。

“積善の家に余慶あり”

ここに春彼岸法要の御案内を申し上げます。

合掌

※御供物は三月十七日迄着にてお取りはからいくださいませ。

令和八年二月吉日

真伝不動明王寺